

市民福祉委員会会議録

開催年月日	平成29年 7月31日(月)	場 所	議会委員会室
案 件	・事務調査第2号「国民健康保険について」		
出席委員	広瀬委員長、宇治副委員長、大栗委員、天日委員、佐藤委員、渋谷委員		
欠席委員	—	事務局	倉本
オブザーバー	—	傍聴者	—
説明員			
開会時刻	10時02分	実会議時間	01時間14分
		休憩時間	00時間43分
閉会時刻	11時59分	延会議時間	01時間57分
次回日程	8月22日 午前10時から		
要 点 記 録	<p><概 要></p> <p>○事務調査第2号「国民健康保険について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の委員会で受けた説明を踏まえ、重点的に調査する事項を協議。 <p>□口腔衛生への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔は栄養の入り口なので、乳歯の段階から対策が必要。 ・乳歯は永久歯や後の歯並びにも影響し、咀嚼にもかかわる。 ・歯の健康が体の健康につながり、認知症や介護にも影響する。 <p>□行政の取り組みが伝わる周知の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富良野市が独自に作成したわかりやすい資料の作成について。 ・予防の取り組みや特定健診の受診を意識できる啓発のあり方。 ・医療費通知で市の状況もあわせて周知できないか。 ・医療費適正化の観点からも健康の保持・増進につなげたい。 <p>□ポピュレーションアプローチ（全体に対する取り組み）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健事業の観点の一つ。（もう一つはハイリスクアプローチ） ・健康な人もそうでない人も対象とした取り組み。 ・40～50代の方への対策が後期高齢者医療、介護保険にもつながる。 <p>○富良野市でポピュレーションアプローチを進めるための方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に分かりやすいメッセージを発信することが大切。 ・特定健診も来て損をしない雰囲気作りなど、富良野市独自の取り組みが必要になる。 ・特定健診を受けるに当たり、壁になっているものを取り除き、受診することで得られるものを伸ばしていく必要がある。 ・大学や企業とのタイアップも打開する策の一つに挙げられる。 		

	<ul style="list-style-type: none">・ 検診に来られない理由を検証し、一つ一つ課題を明らかにしなければならない。 <p>○次回の委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・ ポピュレーションアプローチの事例を検討。・ 国保制度やしくみ、医療費の周知方法について協議。・ 先進地の事例調査にあたり、候補地を決定する。
--	--

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第 27 条の規定により、ここに署名する。

委員長 広瀬寛人